

2008年6月8日

さんびを聞く

田中 千恵子

最近、私は「さんびを聞くこと」について考え続けていました。さんび練習でも、「聞くこと」の大切さが言われています。

「さくらの花の下」というさんびができましたが、私はピアノがどんなふうには弾かれているか、よく耳を傾けて聞いてみました。そして、さくら さくら と、入るところの一音に集中し、私もスーッとその音に入り込むようにして歌います。そして、まわりの人たちの声を聞き、声にならない声、響きを聞くようにしました。聞くことは、集中することだと思いました。そこには神の静けさがある。神の平安がある。私は、この静けさが好きです。

そして、一人一人が聞き合うことに集中すると、さらに響きが生れます。人が集中する時は体が緊張しますが、さんびの中での集中は人の力が取られ、息をゆっくり吐く時のリラックスした感覚と似ています。さんびの中で聞いていくと、心が勝手に耳を傾けてまわりの響きを聞いているのです。聞こう、聞こうという自分の意志ではなく、自然に耳を傾けることができていました。

私は歌うことが苦手でも音もズレたりするけれど、聞き合ってさんびしているとズレがあってもきれいに響いていると思いました。聞かなくてすごい！人にはできないことを、神にあって(さんびによって)互いに聞き合い、愛し合い、響き合うことができるようにされているのです。

先週、大分のケアハウスに入居している母を訪ねました。そこでお会いしたお年寄りたちが、「地球がおかしい」、「何かおかしい」と言われるのです。何十年も生きてきた人たちが、今までこんなことなかったと口々に言われます。私がクリスチャンということも知らない人たちの、まるで私に「地球がおかしい！何とかしてよ」と訴えているかのようでした。そして、その人たちの声と共に、地が、被造物が、うめき、祈っているように聞こえました。

私はその声を聞くと自然にさんびが湧き上がってきて、何度も何度もさんびしました。お年寄りたちの声にならない声に、ふっと心だけを向けるだけで聞こえてくるのです。これは、すべての被造物の声なき声、祈りであり、また神の祈りなのだと思います。この祈りがさんびの中に託されているのだと思いました。

被造物は、実に、切なる思いで神の子たちの出現を待ち望んでいる。わたしたちはどう祈ったらよいかかわからないが、御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである。(ローマ 8:19, 26)

大分から帰る時、弟のお嫁さんが「お土産代にして」と封筒を差し出しました。「いらぬ、いらぬ」と断りましたが、「お父さんが(弟のこと)働いている間は、できるから」と言われ、私はなんだかすごくうれしくなりました。弟に対してうれしかったのもありますが、それより何より、弟をこんなにやさしいものにして下さったイエス様の思いを聞いたようで、うれしかったのです。「このお金を献金しよう。これは、弟が神様に捧げたものだ」と思い、それを受け取りました。

礼拝で献金しましたが、献金袋に入れる前から「こんなうれしい献金を今までしたことがない！」と喜びが溢れました。「さんびを聞くこと」を考えていて、声にもならない声を聞くことを知り、そしてそれが献金の喜びにまで繋がっていくなかで思っても見ませんでした。

これからも、神の声の響きを聞き、さんびし続けたいと思います。(2008/04/16)

「第17回 子羊の群れリトリート」のお知らせ

日時:2008年8月28日(木)~30日(土)

会場:滋賀県「大津プリンスホテル」

8月27日(水)は、リーダーのための総会があります。

「ぶどうの木」に挟み込まれている申込み用紙をご利用下さい。

費用など詳細については、「ぶどうの木」をご覧ください。

今年からリトリートは3年に一度の開催となります。次回の第18回リトリートは2011年にもたれますので、今回はぜひ多くの方に参加していただきたいと願っています。

荒野聖研のお誘い

子羊の群れでは、聖書のみことばを通して神様に語られることに向かい、レポートする「荒野聖研」をしています。人に聞くのではなく、注解書を見るのではなく、ただ一人主に向かい静まる時に湧いてくる思いなどをお書き下さい。メール、または封書で本部事務局までお送り下さい。たくさんのレポートをお待ちしています。

荒野聖研メールアドレス arano@kohitsuji.com

子羊の群れ本部事務局 荒野聖研係 〒662-0945 兵庫県西宮市川東町6-7-103

6月荒野聖研課題

「毒麦を」提出日6月27日

彼は言った、「いや、毒麦を集めようとして、麦と一緒に抜くかも知れない。収穫まで、両方とも育つままにしておけ。収穫の時になったら、刈る者に、まず毒麦を集めて束にして焼き、麦の方は集めて倉に入れてくれ、と言いつけよう。」(マタイ 13:29-30)

収穫まで毒麦をとらないとは、あなたにとってどういうことですか。

7月から9月まで、サマースケジュールのため荒野聖研はお休みします。

2008年度荒野聖研「後期課題」を募集しています。郵送または、荒野メールアドレスまでお送り下さい。

6月芦屋教会 礼拝&聖書研究

日曜礼拝(10:30~)		水曜聖研(10:30~)	
1日	礼拝	4日	
8日	礼拝	11日	詩篇96篇
15日	いやし礼拝(ルナホール)	18日	使徒行伝24章
22日	礼拝	25日	ローマ人への手紙7章
29日	礼拝		

7月から9月まで、サマースケジュールのため水曜聖研はありません。

子羊の群れ本部事務局 TEL 0798-32-1005 HP アドレス <http://www.kohitsuji.com/>